

【概要案】鳥取県農業生産1千億円達成プラン

【このプランの位置づけ】

- ✓ 個別プラン(品目・分野別)の策定・改訂、各種農業施策の検討・推進に際しての基本指針として位置づけます。
- ✓ 令和6年度を起点とし、概ね10年後(令和16年)を目標時期とする計画とします。
- ✓ 情勢変化や対策の実施状況などを見ながら、3年毎にプラン全体を見直します。

基本目標 ～本県農業の目指す姿～

I 「仲間が増える」

【目指す姿】

- 新規就農者が2,000人増
- 認定農業者等の担い手が1,800人に増
- 耕地面積の5割超が担い手に集約
- 女性、後継者、他産業からの参入者など多様な担い手が活躍できる環境

《主な目標指標》

・集落営農組織数 283組織⇒300組織

II 「所得が増える」

【目指す姿】

- 認定農業者の農業所得が500万円以上/年
- 10億円以上の品目を10品目(現8品目)に増
- 「和牛といえば鳥取県」と呼ばれる産地への飛躍
- 農林水産物の輸出額が50億円に増

《主な目標指標》

- ・鳥取型低コストハウス導入面積 47.6ha⇒60ha
- ・果樹県育成品種の作付面積 233ha⇒280ha
- ・星空舞作付面積 1,411ha⇒3,000ha

III 「地域を育む」

【目指す姿】

- 県内食料自給率を150%に向上
- 小さくとも生きがいをもって取り組める地域農業が実現
- 県民みんなで共に農地・農村を支え合う環境
- あんしん安全な農産物による豊かな県民生活
- 再生産可能な農畜産物価格への理解醸成

《主な目標指標》

・農山村ボランティア派遣地区数 43地区⇒50地区

基本方針・重点施策

(方針1) 10年後を支える多様な担い手が活躍できる環境を整えます

①担い手の育成・確保

Ex.トレーニングファームによる就農研修体制の構築、農業支援サービス事業体の育成、地域計画の取組推進

②農業分野における働き方改革・デジタル社会の推進

Ex.女性目線で働きやすい環境づくりにつなげる取組支援、現場のニーズに即したスマート技術実証・導入支援

(方針2) 産地力をアップし、農業所得を高めます

③水田農業の収益性向上

Ex.省力低コスト栽培技術の普及推進、温暖化に適応した高温耐性品種への転換促進(星空舞の拡大)

④園芸産地の基盤強化

Ex.老朽化した選果場の機能向上・再編支援、温暖化に適応した品目・品種の導入、生産技術の確立支援

⑤収益性の高い畜産経営の実現

Ex.鳥取和牛の赤身肉の美味しさによる新たなブランド化の構築、乳用牛の乳量低下抑制に対する暑熱対策

(方針3) 「食パラダイス鳥取県」の魅力を国内外に発信します

⑥食パラダイス鳥取県ブランドの強化

Ex.大都市圏の高級飲食店・小売店と連携した高付加価値商品の定番化、食を通じたインバウンド誘客促進

⑦輸出強化による新たなマーケットの拡大

Ex.食と観光を素材とした海外プロモーションの積極展開、輸出拡大に向けた県内事業者の取組支援

(方針4) 地域の農業を元気にし、農とともに生きる鳥取県を実現します

⑧中山間地域など地域農業の推進と生産基盤の整備・保全

Ex.多様なサポーターによる農地維持活動への支援、DXを活用した施設の監視

⑨農村地域の防災・減災対策の強化

Ex.防災重点ため池の遠隔監視装置の導入支援、流域治水(田んぼダム等)の取組推進

⑩農とともに生きる鳥取県

Ex.農畜産物の適正な価格形成に関する消費者理解の醸成に向けた運動展開(フェアプライスプロジェクト)

⑪持続可能な農業の推進

Ex.有機農産物等の販路確保、消費者の理解醸成、「みどり認定」の推進、オーガニックビレッジの取組推進